

さあ～W杯ロシア大会がやってきた！ ～FIFAランキングにつき～



来月6月14日から7月15日までの約1ヶ月間、サッカーファンならずとも多くの観衆がテレビに釘付けになるでしょう。ところで先月早々、突如としてハリル監督から西野監督に代替わりしました。

我が日本はHグループに組み込まれていることはご案内の通り。さて、西野監督の胸中に勝つ秘策はあるのか・・・、何しろ対戦相手は、ポーランド・コロンビア・セネガルと、どれも取っても日本に勝るチームであることには変わりありません。

スポーツの世界では、ことあるごとに国際ランキングが公表されておりますが、御多分に漏れず、サッカーでもFIFAランクが毎月のように出されておりますね。(下表をご参照)

この算出方法ですが、①過去48か月間の国際Aマッチが対象、②勝ち3、引き分け1、負け0ポイントとして加算、③直近の12カ月ごとに4段階でポイント数を換算、等々誰が見ても分かりやすく計算できるようになりました。

しかし、強豪国がそろっている欧州や南米諸国に比べ、これらの国と対戦する機会の少ないアジア勢にとっては、ランクを上げることが難しいのが実情です。日本が未だ低いランクに甘んじているのも、これが原因かも知れませんが、やはりW杯ロシア大会での活躍を内外に示してポイントを稼がなければなりません。

【FIFA 世界ランキング】

2018年4月12日現在

ポイント	国名	2017年(毎月の数値が世界の順位)							2018年			
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1533	ドイツ	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
1384	ブラジル	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
1346	ベルギー	7	10	9	5	5	5	5	5	5	5	3
1306	ポルトガル	8	4	6	3	3	3	3	3	3	3	4
1254	アルゼンチン	2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5
1118	ポーランド	10	6	5	6	6	7	7	7	7	6	10
989	コロンビア	5	8	8	10	13	13	13	13	13	13	16
825	セネガル	27	27	31	33	32	23	23	24	27	27	28
528	日本	45	46	44	40	44	55	57	56	55	55	60

今月の

水戸まさし応援団

「休むということ」

初夏は若葉が萌え、生物が躍動する季節。にもかかわらず、それに逆行するがごとく、今、書店で「自分を休ませる練習」(矢作東大名誉教授著・分響社)が百万部を超えるベストセラーだという。

休むことは、ストレスを抱えて生活している人にとって、肩の力を抜いて自分を見つめ直す機会となり、新たな活力が生まれてくるようだ。

以前、ips細胞でノーベル賞を受賞した山中教授が、「脳のひらめきは休んでいるときに起こることが多く、故に休むことは大いに効用があること、そして大切である」ことを語っていた。

ニートンに万有引力の法則発見も、リングが落ちるのを見てひらめいたという逸話を思いだした。休むことで見えてくるものがあるということがある。

今の日本にとっての至上命題はなんだろうか。どうすることが国民にとっての利益なのか。先の国政選挙で出馬を見送った水戸さんは今充電中である。一時休んだことにより生まれる大局観、新たな発想をもって市民の期待に応えるべく再起を期していると思う。

水戸さんが再び活躍できるようMチームも頑張るので、変わらぬエールを求めたし。

水戸まさし応援団

Mチーム 益田正廣

◆事務所
〒245-0008
横浜市泉区弥生台26-6
TEL: 045-814-3001 FAX: 045-814-3007
メール: kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>
◆Face Book: 「水戸将史」で検索
◆Twitter: @mito_kickoff
◆メルマガ: 登録はHPから